

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 桃花台校第一単位

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		利用児や活動に応じて適切な部屋やスペースを話し合っ決めていく。	環境設定に配慮が必要な利用児を優先的に考えていく。
	②	職員の配置数は適切である	6		担当制が基本だが、様々な指導員が支援できるよう支援見学をし、定期的に話し合いを持ち、利用者の様子を把握している。	職員の休みの際など、様々な職員が担当出来るように引継ぎを行い支援していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		支援室はシンプルにし、集中出来る環境設定に配慮している。また段差や階段は転倒のないように見守り介助している。	校舎の外で駐車場が混みあう時間や迎え入れの手助けが必要なご家庭には誘導、交通整理をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		支援の前後に準備物を片付け消毒・換気を行い清潔な環境で支援している。	部屋を清潔に保ち落ち着いて活動出来るように環境設定に配慮する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		日常的に利用児の支援内容の振り返りを行っている。	校舎の運営や業務全般に取り入れていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		常に保護者のご意見を受け止め、反省や改善に繋げている。	保護者のご意見に基づいて業務や支援内容の改善に取り組んでいく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		年に一回公開している。	改善出来るところを話し合い出来ることから取り組んでいく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		社内研修は積極的に受けている。	社外研修も支援時間を調整し今後積極的に受けていけるとよい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		アセスメントを定期的に行い、保護者や利用者の課題を把握し支援計画に反映させていく。	保護者だけでなく指導員とも定期的に支援内容を振り返り、支援内容の見直しを行う。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準的なアセスメントツールを使用している。	

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		必要に応じて取り組んでいる。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		支援内容を確認したり実際に見学し、適正かどうかの見直しを行っている。	定期的に見直していく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		個別支援の時は主に担当指導員と児発管が行い、小集団では複数の担当指導員が話し合い児発管も助言している。	発達段階に応じたプログラムや季節に応じた活動などの取り組みも、利用者が無理なく取り組めるように考えていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		本やインターネット、他の指導員から情報を得て活動を工夫している。	指導員間で情報共有したり活動のヒントを様々な媒体から取り入れ工夫していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		季節のイベントなどでは発達段階に応じて集団活動も取り入れている。	個別では経験できない他児との関わりを通じて互いに刺激を受け成長出来るようになるとうい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		利用者に合わせてその日の活動内容などを立案し、設定や準備物、部屋を確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	その日が翌日に振り返りを行い、反省点を今後に活かせるようにしている。	様々な考えの指導員の意見をもとに、今後の支援に反映させていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		指導員はすぐに記録入力し、月に2回記録チェックを行っている。	記録チェックだけでなく、欠席加算や誤字脱字などのチェックも行う。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的に行い、支援の内容や利用者の様子を話し合っている。	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管、管理者が主に参加している。	会議の内容を指導員に伝えていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		保健センターや社協などの関連機関と連携を行っている。	通所して変化したところや成長を定期的に伝えていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	現在該当なし。	今後受け入れていく機会があれば医療機関などの連携を行う。

連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	現在該当なし。	今後受け入れていく機会があれば連携を行っていく。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	保護者のニーズに合わせ、必要に応じて行っている。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	保護者のニーズに応じて夏休みなどに行っている。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	社協主催のこども連絡会などで研修を受けている。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	現在なし。	
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	参加している。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		支援後のフィードバックだけでなく、指導員から聞いた課題について時間を設け話し合うことがある。	支援後の時間だけでなく、保護者と事業所内相談支援の時間を設けていく。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	日々のフィードバック時に保護者に対しての家族支援を行い、別に時間を設けることもある。	保護者の悩みに寄り添い様々な形で家族支援を行う。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明している。	ご利用状況が変化する毎に説明を行う。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		保護者のニーズや利用者の課題をもとに支援計画を作成し、説明し同意を得ている。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者からのご相談を伺い、悩み事を受け止めている。	保護者からのご相談に対して行うことが主で今後出来るだけ多くの保護者のご相談を伺っていく。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	以前交流会を行い好評だった。	今後、実施に向けて計画していく。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		利用者の様子や保護者の困りごとに適切に対応出来るよう努めている。	保護者からの発信だけでなく、指導員からも支援の様子を聞き取り、必要に応じて声をかけていく。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	LINEで必要な情報を発信していった。	会報も検討していく。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		実績記録票や掲示物の名前の取り扱いには気を付けている。	新規ご契約時に説明を行い、個人情報の取り扱いには気をつけていく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		シンプルな環境設定の中で分かりやすい指示や具体物での支援を心がけている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	行っていない。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施し掲示物でお知らせしている。	コロナ前のように利用者も一緒に避難訓練が出来るとうい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に行っている。	もう少し回数を増やし定期的に行っていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時、必要に応じて確認している。	体調の変化がある時には、すぐに保護者に連絡していく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	クッキングの際には、必ず保護者に確認をしている。	原材料名を提示した上で保護者に了解をいただき取り組む。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		利用者の動きを把握し未然に防げるようにしている。	事例があった場合、職員間で共有し、再発防止に努めていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		研修の機会を持ち、資料を読み合わせている。	支援の場でも常に注意を払い、適切な言葉かけや関わりが出来ているかを把握する。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		契約時に説明したうえで、やむを得ず行った時は保護者に了解を得る。	支援の時の言葉かけや対応が適切かどうかを振り返る機会を設け、職員間で共有する。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校第一単位 保護者等数（児童数：8 回収数：8 割合：100 %）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					運動しやすい広さがあり、のびのび活動出来ている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8					児に合わせた支援を継続していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8					環境設定に配慮し、支援で使うものは使用するまで布をかけたり気が散らないようにする。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1				消毒、換気を徹底し、清潔な空間を心がける。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		4	2	園に通っているので特に問題なし。	現在交流していないが、機会があれば行いたい。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	3	1	1		決まった時間を設けてはいない。支援後のフィードバックで保護者の悩みを伺ったり事業所内相談支援を行っている。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8					

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	3				保護者との面談の時間を設け、子育ての悩みを伺ったり助言を行う。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		5	2		現在開催していない。ニーズがあれば行いたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	1			保護者によって相談される回数に差があるため、様々な保護者との時間を設けていきたい。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2		2		LINE やブログなどで取り組みを発信していた。会報も検討していきたい。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			3		各マニュアルについても周知徹底していきたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	1	3		避難訓練の様子を保護者に掲示物で周知している。また、今後利用者とも訓練を行っていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8					通所を楽しみにしてくださっているのが何よりの励み。より一層精進していく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8					利用者の満足度の高さが励みになる。今後もより良い支援を提供していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第二単位

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		利用者によって使用する支援室の話し合いを随時行っている	状況により支援室の変更が必要であれば、話し合っていく。
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	2階に移動の際、子どもと手を繋ぐことや、ゆっくり歩くことを伝えながら、事故防止に繋げている。	支援室の入り口に人気キャラクターのイラストを貼っていることで、活動に期待して入室して利用者も楽しんでいる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	必要に応じて、部屋の仕切りを外し、ゆったりと活動ができる空間を作っている。	支援内容によって、部屋を広げたり、日々の清掃では、清潔を保てるように心がけている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			職員間で話し合い、業務改善に繋げている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			職員間で話し合い改善に繋げている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			研修に参加できない時は、動画を見ながら、支援に必要な学習を行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			子どもと保護者のニーズや課題を伺った上で、職員間で話し合い支援計画の作成を行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			支援計画を作成する際は、職員間で話し合い、児発管が作成している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			季節行事や集団活動では企画会議を行って取り組んでいる。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			複数で担当してる場合は情報共有して内容が固定しないように工夫している、	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1		職員間で話し合い、子どもの状況に応じて、計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		適宜行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		適宜行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			適宜行っている。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		計画の見直しの必要性があれば話し合い、検討している。	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		児発管が参加している。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		情報共有した支援を行っている。
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		該当者なし
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		該当者なし
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		
保護者への説明責任等	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2		児発管が参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2		
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			ポルトガル語での対応が必要な時は、ブラジル人の指導員に説明してもらい同意を得ている。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者から、相談を受けた時には、時間と場を設けて、対応している。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		保護者から、相談を受けた時には、時間と場を設けて、対応している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
非常時等の対応	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		訓練の様子やマニュアルを掲示していきたい。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			訓練の様子やマニュアルを掲示していきたい。
	㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			持病がある方の情報は、職員間で共有し、来所時に体調確認を行っている。
	㊱	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			食事の提供はないが、状況に合わせた対応が出来るように職員間で共有していく。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			その都度、話し合い議事録で確認している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			定期的に研修の機会を設けている。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			現在、身体拘束の対象者はいないが、必要があれば相談して検討していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第二単位 保護者等数（児童数）：15 回収数：12 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2	2		療育室にキッチンスペースがあると良い。	必要に応じて、簡易的なキッチン玩具を使用している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2	2		・ポルトガル語の支援希望 ・言語聴覚士がいると良い。	その日の利用状況により可能な範囲で対応していきたい。 言語聴覚士は現在いないが活動の中で、楽しく発語や言葉に繋がる支援を取り入れている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	3	4			人気のキャラクターのイラストで支援ルームを示している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1			建物が古いこともあり、汚れているように見える。	日々の清掃や消毒を徹底し、清潔感を保つ。 楽しい雰囲気の内装で補ってきたい。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	3				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	3				職員間で話し合いながら、計画に沿った支援を行っている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	3				子供に寄り添った内容を工夫している。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	1	1			
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1				契約時や、必要に応じて対応し説明している。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	5				ポルトガル語・日本語で言葉の違いはあるが、伝わりやすい言葉や職員で丁寧に説明していく。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	5	5			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	2			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6				
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	6				保護者様のお困り事に、必要に応じて対応している
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	4	3			SNS や Facebook で活動内容を公開している
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	1			回答無し 1	
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	4	3			掲示物等で訓練の様子を掲示していきたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	6	2			掲示物等で訓練の様子を掲示していきたい。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11		1		行き渋りはあるが、支援後は楽しんでいた様子が伺える。	楽しく成長につながる活動を提供できるように心がけている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12				先生との関わりを楽しみにしている。	御満足していただける支援が出来るように、職員一同取り組んでいく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。